

1) Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- ・ <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
- ・ <https://cran.r-project.org> (R)
- ・ <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)

2) TeXをインストールする.

TeXLiveを推奨

- ・ 2018以降ではketcindyが既に入っている、

3) KeTCindyのインストール

(1) CTANからketcindy または 次からketcindy-masterをダウンロードする.

<https://github.com/ketpic/ketcindy>

(2) ketcindy-master/forLinuxを開く

注) ketcindyのダウンロードページ

<https://github.com/ketpic/ketcindy>

注) setketcindy.shをテキストエディタで開き、パスを修正する.

ketcindyfolder/scriptsのketoutset.txtも適宜修正する.

(3) ターミナルのshコマンドでsetketcindy.shを実行 (管理者権限必要)

- ・ scriptsの内容が選択したTeXの中にコピーされる.
- ・ ketcindyのstyleファイルがTeXにコピーされmktexlsrが実行される.
- ・ CinderellaのPluginsにKetcindyPlugin.jarがコピーされる.
- ・ また, ketcindy.iniが作成される.

(4) ターミナルのshコマンドでsetwork.shを実行 (管理者権限不要)

- ・ 作業ディレクトリketcindyがユーザホームに作成される.
- ・ タイプセットの方法 (TeXの種類)
通常は, platex (p)またはuplatex(u)を選ぶ.
- ・ ketcindyにworkフォルダの中身がコピーされる.
- ・ .ketcindy.conf (不可視ファイルだが編集可) がketcindyに作成される.
注) TeXを切り替えるときなどはこのファイルを修正する.
- ・ マニュアルもコピーされる.
- ・ 作業ディレクトリにketincy.confの雛形がコピーされる.
- ・ KeTCindyを立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる.

1) ketoutset.txt

2) ユーザホームの .ketcindy.conf

3) 作業ディレクトリketcindyの ketcindy.conf

4) KeTCindyのテストラン

- (1) 作業ディレクトリの中のtemplate1basic.cdyを選び, 「情報を見る」を開く.
 - ・アプリケーションが所定のCinderella2になっていることを確かめる.
 - ・「情報」を閉じて, template1basic.cdyをダブルクリックする.
 - ・画面に白い枠が出れば, ライブラリの読み込みは成功.
- (2) スクリーンの左上部にあるFigureボタンを押してPDFが表示されれば成功.

5) TeXworksの設定 (kettexの場合)

- ・ TeXworksを立ち上げる
 - ・ 次を選択
TeXworks > 環境設定 > タイプセット
 - ・ 上の欄 (パス) に以下を追加
/Applications/kettex/texlive/bin/x86_64-darwin
注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する.
 - ・ 下の欄の横にある + をクリック
名前: uplatex(ptex2pdf)またはplatex(ptex2pdf)
プログラム: ptex2pdf
引数:
 - u (uplatexの場合のみ)
 - l
 - ot
 - \$synctexoption
 - \$fullname
- OKボタンを押し, デフォルトを変更してOKボタンを押す.

6) gccをインストール

- ・ 曲面描画のためには, gccが必要である.